



時事評論家 増田俊男

「細菌の意志」

私は「資本の意志」という言葉を造った。

世界経済を支配する独占資本も従わざるを得ないのが「資本の意志」である。

「資本の意志」は独占資本の支配力を使って世界を恒久的秩序の下で恒久的平和の確立・維持の為に世界統一国家(One World)を目指している。

「カネがモノを言う」のは確かだが、新型コロナ現象を見れば分かる通り、香港の雨傘アクティビスト(活動家)も毎週土曜日パリで騒ぎ立てるイエロージャケットデモ隊も新型コロナウイルスの前ではまるで猫のようにおとなしくなる。

世界支配と統一には「カネ(欲望)と細菌(生命の脅威)」が必要である。

1945年8月6日と9日に広島と長崎にトルーマン米大統領が原爆を投下したことからアメリカの「核」がアメリカの経済力(カネ)と共に世界の脅威になりアメリカは「世界の警察官」(覇権国)になった。

しかし「吹けば飛ぶような北朝鮮」がアメリカ本土を直撃出来る核弾頭付き ICBM(大陸間弾道ミサイル)を持つに至り、アメリカの「核の傘」は消滅した。

一方、カネで世界を支配する為国家から独立させ国家を永久の債務者にして支配し続ける為に制度化した「独占資本の使い走り役」としての中央銀行は債務者(国家)が潜在的財政破綻状態に陥った為共倒れの危機に瀕している。

「カネがモノを言えなくなってきた」為「モノが言えるカネ」を造らねばならなくなった。

だから2020年10月からIMF(国際通貨基金)で次期基軸通貨と金本位制についての討議が始まるのである。

その前に現行金融システム崩壊を急がなくてはならなくなったのである。

「誰か」が新型ウイルス爆弾を武漢に投下したことにより「核」に代わる「新たな脅威」、「細菌兵器の脅威」が確立された。

金本位制下では金(ゴールド)の裏付けなしに現金通貨(当日債務)も国債(短長期債務)も発行出来なくなるから国家は独占資本から金を借りなくてはならなくなる(貸す者は借りる者を支配する)。

世界の国の金塊を預かっているFRBの金保管所には1オンスの金貨もない!

大手投資銀行(独占資本の代理人)がFRBから金利を払って借りた金保管証書はリーマンショック時、担保流れになって独占資本の手に渡り、FRBの株主である独占資本は合法的にFRBの保管所の金塊を独占資本の保管所(スイス)に移動している。

これからは「資本の意志」と「細菌の意志」が世界を支配する時代である。

「小冊子」Vol.115の第一章「新型コロナウイルス武漢発症の真実」を読めば「資本の意志」と「細菌の意志」が分かり、今日から米大統領選【11月3日】までの株価、為替、資産(不動産)の動きが「手に取るように」分かる。

<新型コロナウイルス関連情報>

マスタ U.S.リサーチジャパン株式会社 オンリーワン事業部でベストセラーの次亜塩素酸水(商品名:ソリューションウォーター)は只今注文殺到中! 発送には少しお時間を頂く場合もありますが出来る限り迅速にお届け致しますのでご理解のほど宜しくお願い致します。

詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (TEL: 03-3956-8888、FAX: 03-3956-1313、HP: <http://chokugen.com/SolutionWater/index.html>) まで。